

みてみて ほっと越谷



特集

脱「オトコ」らしい＆ 「オンナ」ならではの職業 性別にとらわれない仕事選びを考える

越谷市女性・DV相談支援センターからのメッセージ

職種から見るジェンダー・ギャップ
——相談の現場から

登録団体活動紹介

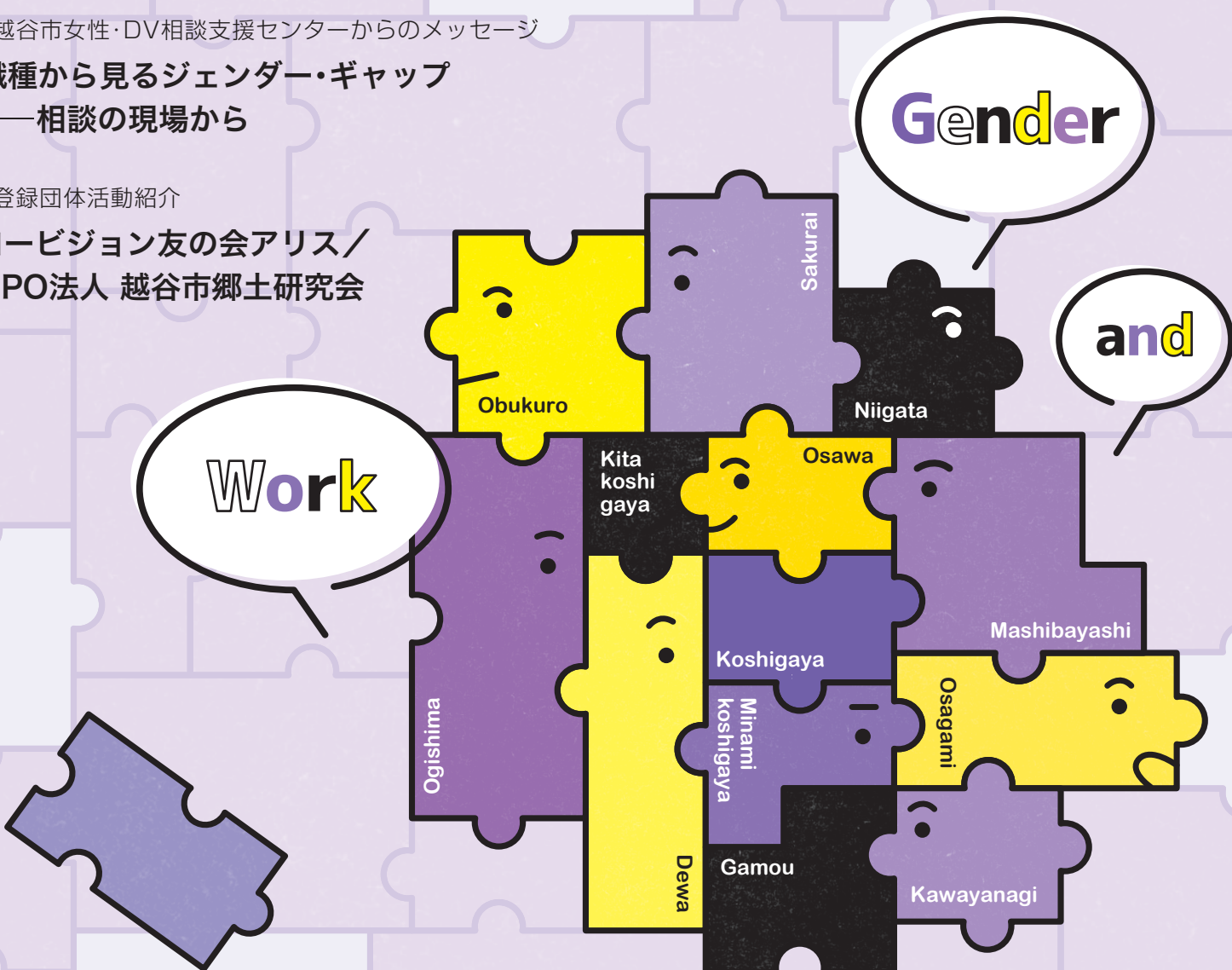
ロービジョン友の会アリス/
NPO法人 越谷市郷土研究会



救急救命士の
小俣 恵美子さん



保育士の
新部 竜海さん



脱「オトコ」らしい＆「オンナ」ならではの職業

性別にとらわれない仕事選びを考える

「消防士」「保育士」「整備士」「看護師」…と聞いて、イメージしたのは女性でしたか？ 男性でしたか？仕事に対する適応性は、「性差よりも個人差」と言われています。しかしながら実際には、一方の性別が明らかに多い職種が存在しています。今号では、越谷市の職業における男女比率の現状や日本と埼玉のジェンダー・ギャップ指数を踏まえ、男女の人数の差が大きい職場で働くおふたりに話を伺い、性別への思い込みのない自由な職業選択について考えます。

越谷市民の就業分野別男女比率

女性比率が高い職業

職 種	総 数	女性比率
保健医療サービス職業従事者	680 人	97.1%
社会福祉専門職業従事者	2,800 人	88.6%
事務用機器操作員	680 人	88.2%
その他のサービス職業従事者※	1,660 人	75.9%
介護サービス職業従事者	3,500 人	73.7%

男性比率が高い職業

職 種	総 数	男性比率
機械整備・修理従事	2,320 人	99.1%
建設・土木作業従事者	5,780 人	98.3%
建設・採掘従事者	7,460 人	98.1%
自動車運転従事者	4,980 人	98.0%
輸送・機械運転従事者	6,500 人	97.8%

※住み込みではない家事代行など

出所：総務省「令和2年国勢調査 抽出詳細集計（就業者の産業（小分類）・職業（小分類）など 全国結果）」より越谷市のデータを抽出

越谷市職員の女性比率

職 種	総 数	女性比率
保育士	341 人	96.8%
医療職	568 人	76.6%
事務	1,076 人	42.9%
現業職※	367 人	21.3%
技術	255 人	8.2%
消防士	321 人	5.3%

※市立小・中学校や施設などでの施設管理、ごみ・汚泥処理、給食調理など

出所：越谷市「女性活躍推進法に基づく女性の職業選択に資する情報の公表」令和5年4月1日時点



ジェンダー・ギャップ指数

性別を理由にして、役割を固定的に分ける考え方を「固定的性別役割分担意識」と呼び、日本社会に根強く残り、今なお一人ひとりの中にも少なからず存在しています。その結果「この職業に向くのはこの性別」という思い込みが、自分や周りの人々の職業の選択肢を狭くしているのかもしれません。職業に限らず、男女格差を表す『ジェンダー・ギャップ指数』が毎年メディアを賑わせるようになっています。

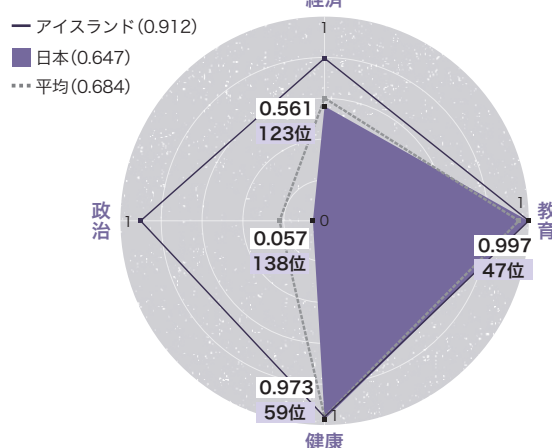
分野別評価基準

【世界経済フォーラム】 グローバル・ジェンダー・ギャップ報告書		【地域からジェンダー平等研究会】 都道府県版ジェンダー・ギャップ指数	
経済	労働参加率の男女比 など 5 項目	社長数の男女比 など 7 項目	
政治	国会議員の男女比 など 3 項目	市区町村議会の男女比 など 7 項目	
教育	識字率の男女比 など 4 項目	高校の校長の男女比 など 7 項目	
健康	出生児性比 など 2 項目	評価基準としていない※	
行政	評価基準としていない	都道府県の管理職の男女比 など 10 項目	
内容	分野別のスコアと指数を公表	分野別のスコアを公表	
数値	0 が完全不平等、1 が完全平等を表す		

※「健康は医療水準の高い日本では地域差が大きくないため、都道府県版では代わりに、住民に身近な地方自治の立案・執行の場である「行政」分野を採用した」（都道府県版ジェンダー・ギャップ指数ウェブサイト）

ジェンダー・ギャップ指数 その1 世界の中の日本

2023 年、日本は 146 か国中 125 位で過去最低順位となりました。特に「政治」は 138 位と最下位クラスになっており、衆議院の女性議員比率が 1 割にとどまったことや、過去に女性首相が 1 人もいないことが順位を下げた原因となっています。

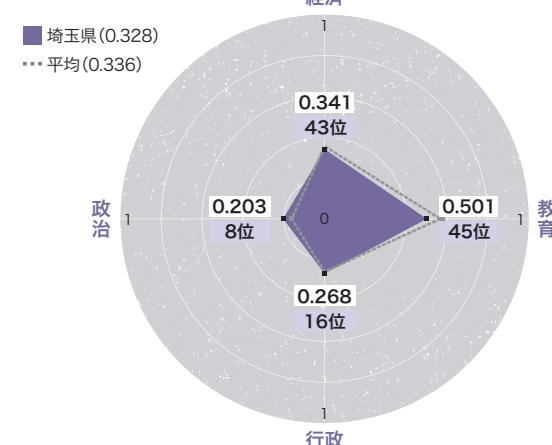


ジェンダー・ギャップ指数の順位

順位	国名	値
1	アイスランド	0.912
2	ノルウェー	0.879
3	フィンランド	0.863
4	ニュージーランド	0.856
5	スウェーデン	0.815
6	ドイツ	0.815
}		
124	モルディブ	0.649
125	日本	0.647
126	ヨルダン	0.646
127	インド	0.643

ジェンダー・ギャップ指数 その2 日本の中の埼玉

埼玉県は市町村議員に女性が多く「政治」は 8 位、「行政」は県の審議会や防災会議の女性割合が高く、16 位でした。「経済」は女性がフルタイムの仕事に従事する割合が低く、「教育」は四年制大学進学率の男女格差が大きいことからこの 2 分野では低い順位となりました。



経済分野の順位

順位	都道府県名	値
1	沖縄県	0.388
2	徳島県	0.380
3	鳥取県	0.378
}		
41	長野県	0.343
41	愛知県	0.343
43	埼玉県	0.341
44	福井県	0.340
45	北海道	0.336
46	三重県	0.334
47	静岡県	0.331

「救急救命士」という職業を聞いたとき、ぱっと思いつくのは颯爽とした男性の姿…という方も多いのではないのでしょうか。そんな思い込みによるイメージを吹き飛ばす「女性」で「子育て中」の救急救隊長・小俣さんに、ご自身の仕事や男性の多い職場で働く中での思いなどを伺いました。



おまた えみこ
小俣 恵美子 さん

専門学校卒業後に資格を取得、越谷市消防局に勤務する。現在、越谷市消防局蒲生第2救急救隊長。

—— 救命士の仕事

119 番を受けて出動、傷病者の問診や観察を行い、症状に合った病院に搬送します。心肺停止、ショック、低血糖など、救急車で処置が必要である場合は、救命救急センターの医師から指示をもらい、現場や救急車で処置を行います。勤務は3交代制の24時間勤務で、産休・育休から復職しています。報道されているように、コロナ禍以降から救急件数が増加し、忙しい状況が続いています。

—— 救命士を目指したきっかけ

小さいころから誰かの役に立つ仕事がしたい、と警察官などの保安職にあこがれがありました。地元の岡山では消防士の採用に女性枠がなく、ふとしたきっかけで救急救命士なら他の都道府県での採用があることを知り、全国で6か所しかなかった救命士を目指す専門学校に入りました。学生40名のうち女性は12名で消防署に就職したのはその半分ぐらいでした。

—— 消防・救命の仕事とジェンダー・ギャップ

産休・育休や深夜業務の免除など制度はしっかりしていますが、私のように出産、子育てしながら現場に戻っている消防・救命の職員は全国で見ても少数です。

女性の応募者が少ないにも関わらず、離職率も高い現実



■ 小俣さんの消防署での1日(24時間勤務)

時刻	内容
08:30 ～ 12:00	大交替 車両点検、ミーティング 各種訓練、その他の業務
12:00	休憩
12:45	各種訓練、その他の業務
18:00	休憩
18:45	事務処理、その他の業務
22:00 ～ 06:00	仮眠時間(うち交代で1時間の 深夜勤務)
06:00	起床、車両整備、事務処理
08:30	大交替 その後帰宅

**緊急
出動**

通報を受け救急車で現場に急行、傷病者を搬送する。搬送先病院の検討、連絡、救命措置などを行う。

があります。全国でも女性消防職員は全体の3%しかいません。かつては法律で女性が深夜業務に就業することが認められておらず、越谷市に建築された消防庁舎は女性が当直できる設備がありませんでした。平成15年度以降に建築された庁舎には女性専用の施設があり、これから建て替える庁舎にも設置されていく予定です。

—— 女性も男性も働きやすい現場にするために

基本当直をしない日勤救急救隊を編成する消防本部が徐々に増えています。男性でも子育てしながら日勤で現場にいたいという職員もいます。男性も育児休業を取る時代だと一人ひとりが意識しないといけないと思います。女性活躍推進は女性だけの問題ではありません。

—— これからの消防・救命

総務省消防庁は女性に消防・救命を職業として選んでもらえるようホームページや動画を作成していますし、復職支援に取り組んでいる消防本部もあります。先日、社会体験チャレンジ事業で来てくれた4名の女子中学生は「消防署に興味があり体験を希望した」ということでした。私が入ったときは救急車に女性が乗っていること自体が驚かれる時代でした。これからは、女性の消防隊や救急救隊がさらに活躍できる時代が来ると信じています。

自分の経験から就いた子どもと共にある仕事

保育士

保育士は1976年まで法律で女性限定と定められていたことをご存知でしょうか？1999年に「保母」「保父」という名称が「保育士」に変更されてからも依然として保育士の女性比率は高く、越谷市でも男性比率は3.2%にとどまっています※。では、「男性」保育士の実態はどのようなのか、お話を伺いました。

※参照データ：越谷市「女性活躍推進法に基づく女性の職業選択に資する情報の公表」



にべ たつみ 新部 竜海 さん

専門学校にて資格を取得、卒業後18年間にわたって保育の現場に携わる。県内の児童養護施設を経て、現在は市内保育所にて2歳児クラスを担当。

—— 保育士のやりがい

子どもの成長を間近で見ることができて、保護者とその成長を共有できる素晴らしい職業です。子どもの人格形成や健全な発育などの人生に関わる大きな責任があり、やりがいのある仕事です。保育士自身の性別に関係なく、お互いにサポートしあって、子どもと関わっています。

—— 保育士を目指したきっかけ

喘息持ちで小学生のときに2年間ほど入院しました。家族と離れて寂しい中で、児童指導員の先生たちが一緒に遊び、いろいろな企画をしてくれたことで、とても楽しく過ごせました。その時に子どもと触れ合う仕事っていいなあと感じたことがおそらく原点です。その後進路を考えたとき、人と接することも好きだったので保育の学校に行こうと決めました。

■ 新部さんの保育所での1日

時刻	内容
07:00	延長保育受入れ ※早番シフトのとき 保護者の送り対応
09:00	クラス別保育 水分補給・排泄援助など
10:00	主活動 室内や戸外での遊び、散歩
11:00	給食援助
12:00 ～ 15:00	お昼寝対応、職員ミーティング、その他業務 (連絡帳・日誌記入、昼食)
16:00	保護者の迎え対応
18:30 ～ 19:00	延長保育 ※遅番シフトのとき



—— 専門学校とその後のキャリア

専門学校の実習で児童養護施設の子どもたちと過ごすことで、自分自身の過去の経験にも通じるこの仕事をしたいと感じて、施設に就職しました。施設内には保育士だけではなく、児童指導員などの資格を持った男性職員がいました。5年間児童養護施設でいろいろな子どもを見ていく中で、違った状況やさまざまな年代の子どもと関わる仕事もしたいという思いが生まれ、保育所での勤務を選択しました。

—— 保育士とジェンダー

保護者の中には、子どもが巻き込まれる性犯罪がメディアの関心を集めるためか、男性保育士へのネガティブなイメージもあると思います。「保育士が男性？」と保護者が戸惑われていると感じることがあります。ただ、私が子どもたちと一緒に過ごす姿を見ていただき、卒園のときに保護者から感謝を伝えていただけることは大変嬉しいです。

下の年代には男性保育士が増え

てきているので嬉しく思い

ます。ちなみに、私が通っ

ていた20年ほど前の専

門学校では、児童福祉科

は1クラス40名のうち

男性は10人程度でした。



性別による職業選択、固定的な性役割分担意識を超えてゆくために令和5年度に開催した講座の一部をご紹介します。

私の好きなことで仕事を創る

講師：市場 真理子さん（会社の現場監督合同会社 代表）

全4回にわたって、起業の基礎を学び、市内で活躍されている地域活動家からの実体験を伺い、具体的なマネープランまで学びました。講座の約1か月後には、受講者による実践の場として「miniマルシェ」を開催しました。

受講者の感想

- 自分と同じような考えの人がたくさんいると分かってよかったです。自分軸を考えていきたいと思いました。
- 家庭と仕事を両立できるか悩んでいましたが、「今」でできること、自分だからできることなど、ポジティブに考えようと思えました！
- とにかく講師の説得力がすごい。一人で考えるだけでは得られない、とても有意義な時間でした。



今こそとろう！「男性の育休」
～勝利の鍵はパパの手に！

講師：前田 晃平さん（こども家庭庁 成育局 安全対策課 専門官）

育休を取ったことで「パパの家庭進出なしにママの社会進出はありえない」と気づいた“普通のパパ”である講師に『産後パパ育休』の解説と男性の家庭進出の必要性、実現するための手段について伺いました。

受講者の感想

- 講師の実体験の話が多く、参考になる部分が多かったです。
- 「草の根的な活動で土壌を作っていくことが必要」との言葉はまさにその通りだなと思いました。



男女共同参画
に関する
苦情処理制度
について

越谷市では、男女共同参画の適切な推進を図っていくため、男女共同参画に関する市の施策や男女共同参画を妨げる事案に対する市民や事業者からの苦情の申し出を公平・中立な立場で処理する苦情処理委員を設置しています。苦情処理委員は、申し出の内容について調査を行い、その結果、必要があると認めるときは、関係者に対し、助言、勧告、是正の要望を行います。秘密は厳守します。申し出の方法や詳しい制度の内容については、人権・男女共同参画推進課（☎048-963-9113）までお問い合わせください。



職種から見るジェンダー・ギャップ ——相談の現場から

日本における女性の職業選択は「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」にも掲げられている通り、以前に比べ自由で多種多様だと思えます。

私は1980年にオーストラリアのシドニーで過ごす経験をしました。生まれて初めての海外だったので、見るもの聞くもの全てが新鮮でした。その中でも特に印象的だったのは、バスの運転手さんの半数近くが女性だったことです。国民の多くは移民の方々だったこともあり、さまざまな国籍の女性たちが実に堂々と大型バスの運転席で、これまた大きなハンドルを力強くさばっていました。後日気が付いたことは、バスだけではなく、タクシー、トラック、電車、フェリーなどの運転にも女性が多く携わっており、日本ではまだ見られない光景でした。

彼女たちがフルタイムだったのか、パートタイムだったのかは分かりませんが、見える景色の中での男女平等、男女雇用機会均等を感じたものです。当時の日本ではまだ「看護婦さん」「保母さん」という呼称がまかり通っており、女性の仕事・職業という側面に

おいても、私にとってはカルチャーショックでした。

それから40年以上たった今、相談の中で女性の働き方を伺うと、「夫の扶養の範囲での就労」という方が実に多いです。結婚前や出産前は正社員で仕事をしていただけたけれど、家事育児に支障のない働き方を夫から望まれ、また自らもそういう働き方を選んだとのこと。女性が結婚・出産を機に離職することで20代～40代の生産労働人口が減少する、いわゆるM字カーブというのがあります。以前に比べてその曲線は緩やかになってきたとはいえ、家庭の中でのケア役割を主に女性が担っていることが見えてきます。男性は逆U字型カーブで、結婚や出産とは関係なく働き続けている人がほとんどです。

妻が夫の扶養家族になって得をするのは夫であって妻ではありません。夫の所得税が扶養家族の分、税額控除されるということです。これがあるばかりに働き方を抑えている女性が多いですね。でも、「君のおかげで税金が安くなったよ、ありがとう」と言われたという女性の声は聞いたことがありません。(苦笑)

相談無料！
秘密厳守！

女性の生き方についてのなやみ相談、
DV相談ができます

(祝日・年末年始を除く)

電話相談 (予約不可)

☎ 048-963-9176		☎ 048-970-7415
月～金曜日	水・金曜日	土曜日
午前 10 時 ～ 12 時 午後 1 時 ～ 4 時	午後 5 時～8 時	午前 10 時～12 時 午後 1 時～ 4 時

面接相談 (要予約)

予約電話番号 ☎ 048-963-9176 (月～金曜日 午前10時～午後4時)

相談時間：月～土曜日

午前 10 時～12 時、午後 1 時～4 時

(第4土曜日午後2時～4時を除く)

※場所は予約時にお伝えします。

女性のための法律相談 (要予約)

予約電話番号：☎ 048-963-9176 (月～金曜日 午前10時～午後4時)

相談時間：毎月第4土曜日 午後2時～4時

※場所は予約時にお伝えします。



ロービジョン友の会アリス

視覚障がい者にもやさしいまちづくりを

※ロービジョン（弱視のこと）

ロービジョン友の会アリスは、視覚障がい者とその家族、協力者・支援者（メイト）がひとつになり、引きこもりがちになる当事者（目の不自由な人）の方と手を取り合って、対等でより豊かな関係をはぐくみながら、社会参加を積極的に進める活動をしている団体です。設立は2001年、散歩など気楽なお出かけや、地域の方々に視覚障がいについて理解していただく為の体験会や講座の開催、ボランティア活動などを行っています。まずは、視覚障がい者といっても見え方は多様であること、そして目が不自由でも「かわいそう」ではないことを覚えておいていただけるとありがたいです。視力の低下ばかりでなく、視野が狭くなって部分的にしか見えない、また暗さやまぶしさの苦手な方もいます。目が不自由でも皆さんと共にこの越谷市で暮らしていきたいと願っています。「障がい者にやさしいまちは誰もが暮らしやすいまち」そう

思いませんか？ 白杖を持った方、目の不自由な方を見かけたら、まずは、優しく声をかけ「何かお手伝いしましょうか？」と尋ねて

いただけますか？ 当事者にとって街中で声をかけて頂くことは大変ありがたく、うれしいことです。その際、お願いしたいことがあればお伝えしますので、少しの勇気をもってお声をかけをよろしくお願い致します。共に活動して下さる方のご参加を心よりお待ち申し上げております。



連絡先 ロービジョン友の会アリス
TEL: 090-8050-6886 阿保（あぼ）
E-mail: tomoni01arisu12@gmail.com

NPO 法人
越谷市郷土研究会

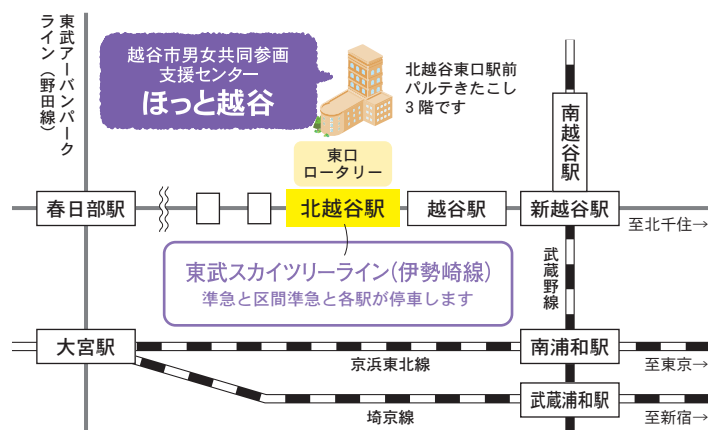
「越谷を楽しんで知りたい」「越谷をもっと盛り上げよう」



越谷市において、郷土の調査・研究を行い、講演会などを通じて市民の皆さんに越谷市の歴史に興味をもってもらい、より好きになってもらおうと1965年（昭和40年）に創立しました。今年で60年目を迎え会員数も約200名近い大きな活動団体です。講演会は越谷市の歴史を主体とし、昨年は「ほっと越谷」にて子ども向けに「越谷隕石 ～越谷隕石のここがすごい！～」も開催しました。また毎年県民の日（11月14日）には、教育委員会との共催で小学生向けに「昔遊び（コマ、めんこ、ケン玉等）体験会」なども開催しています。この歴史ある越谷市を若い世代

の皆さんにも知っていただけるように、さまざまなイベントに参加し、盛り上げています！ 史跡めぐりは年に10回程度実施しています。越谷市内はもちろん、越谷とつながりのある県外の史跡へ出かけて歴史を学んでいます。2023年は「徳川家康ブーム」にのり日光東照宮にも足をのばしました。会員が数グループにわかれ、市内にある石仏の文化財パトロールを行って文化財の保全にも力を入れています。今後の夢である「郷土資料館」の開設を期待し、取組んでいきたいと思えます。年齢や性別に関係なく、気楽な仲間と、散歩気分越谷市を楽しんで知ってみようかなと思ったら是非一緒に活動しましょう。

連絡先 NPO 法人 越谷市郷土研究会
TEL: 090-3819-6965 大野（おおの）



みてみてほっと越谷 第54号

令和6年2月1日発行（年2回発行）

編集・発行 越谷市男女共同参画支援センター「ほっと越谷」
（指定管理者 街活性室株式会社）

所在地 〒343-0025 越谷市大沢3丁目6番1号
バルテきたこし3階

TEL 048-970-7411 **FAX** 048-970-7412

E-mail hot-koshigaya@machikatsu.co.jp

URL https://hot.koshigaya-center.jp

開所時間 午前9時～午後9時（日曜日は午後5時まで）

休所日 月曜日、祝日、年末年始
（月曜日が祝日の場合は火曜日休所）

